

# 従来の集団指導とも個別指導とも異なる 「次世代型個別対応進学塾」 独自の指導法を直営とFCで展開したい

躍進館  
埼玉県川口市  
**稲場一浩**  
館長



躍進館は、21年前にそろばん塾の学習塾部門として始まった。そろばん塾から塾部門を独立させたのが2002年、法人として株式会社になったのが一昨年の2012年のこと。現在2教場だが、今年9月には新たな教場を開設して3教場になるといふ。

最大の特色は、通常の集団指導でもなく、従来の個別指導でもない、「次世代型個別対応進学塾」と名乗っているところ。個別指導は一般的に集団指導よりも月謝が高いが、躍進館は講師1人で生徒8〜15人を指導できるので、平均的な進学塾並みにリーズナブル。保護者や子どもたちにとっては通いやすい。有名校進学から、学校の補習、学力再生まで対応できる「個別進度学習指導」を実施している。独自に15年以上の歳月をかけて開発した。教え込む指導ではなく、「個別対応指導」と「学び」を柱としている。

「わかりやすく」と「自立学習塾」です。ずっとこれを追求してきました。一時期希望の高校に合格して進学しても中退する生徒が出てしまい、それ以後従来の指導はやめて新たな指導法を探求することにしたのです。かといって今までの個別指導では講師への依存が高まっ

て自立できないし、成績も上がりません。個別進度学習指導に切り換えてからは、飛躍的に学力がアップするだけではなく、高校に進学してからも持続的に努力できる子どもが増えました」と稲場塾長は語る。教育理念は「自分の人生を切り開く力を育てること」。

約200名の生徒のうち、最も多いのは中2と中3。「中学生が110名で一番多く、小学生70名、高校生は20名といったところでしようか」と稲場塾長は言う。特に今は小学生の集客と教育に力を入れている。「2000年頃から小学生指導には力を入れています。経営の安定化という意味もありますが、特に小学生のうちに考える力、思考力を伸ばして欲しいと思うからです。そうすると中学生になってから勉強が今まで以上に楽になり、楽しくなって学力も驚くほどアップするはずですよ」。

小1以上を対象にして英語学習の「Lepton」を3年前から導入したという。「今後英語力が今までの以上に重視されるのは当然ですが、英語学習には珍しく個別対応指導ができること、TOEICに対応していることに魅力を感じました」。特に思考力を伸ばすということでは「G1国語」「G1算数」、そ

して「パズル道場」も導入している。「小学生は何かしらの習い事に通っているお子さんが多いもの。塾と両立させやすいように、うちでは無学年制にして、何時に来てもいいように5分刻みで時間割を設定しています」。

独自の指導法である「個別進度学習指導の管理システム」は、現在特許出願中。その効果が非常に大きいことから、全国の大手塾や学校関係者も大勢躍進館の見学に訪れている。「今後はこの指導法の直営教室を増やすと同時に、フランチャイズでも展開したいと考えています。本当に子どもたちのためになる教育をしたいと考えている塾の方々と、ぜひとも手を組んで普及させたいと思っています」。

## 基本データ

設立 1993年  
指導対象 小1~大学受験浪人  
教場数 2  
生徒数 約200名

